

ドイツ企業と地元企業がともに挑む 3Dプリンターによる新たなものづくり

EOS JMC

ドイツのEOSは世界的な産業用3Dプリンターのメーカーで、2017年に新横浜に進出しました。一方、JMCは、同じく新横浜を拠点に、鋳造や3Dプリンターによる試作品製作などを行っている横浜のものづくり企業です。この両者がお互いの経験や強みを生かし、2020年に協業をスタート。EOS製の3Dプリンターを活用した樹脂素材のものづくりをJMCが提案し、新規顧客の開拓と日本での3Dプリンターの更なる普及に、ともに取り組んでいます。



EOSの3Dプリンターで生産したサンプル品



JMCの渡邊CEO（左）とEOSの橋爪リージョナルマネージャー

日本における 新しいものづくりの可能性を開く



EOS 日本法人・橋爪康晃 日本リージョナルマネージャー

3Dプリンターは、飛行機や車の部品、インプラントや義足など、顧客のニーズに合わせて製品をカスタマイズできることから、幅広く活用されています。しかし、日本では海外ほど普及しておらず、まだまだ大きなポテンシャルがあると考えています。

当社は、2017年に新横浜に日本法人を設立し、ショールームを開設しました。日本市場では従来金属素材用の3Dプリンターを中心に扱ってきましたが、樹脂素材のニーズの高まりを受けて、新規顧客開拓を目指し、JMCさんとの協業を始めました。JMCさんは、3Dプリンターによる試作品製作や、製品の検品（CT）業務などを通じたノウハウ・知識を豊富にもっています。日本に進出間もない外資系企業にとって、日本の市場や顧客事情に明るい身近なパートナーの存在は、非常に心強く思っています。

3Dプリンターは、消費者の「あったらいいね」や、製造現場の「できたらいいね」を実現する機械だと思います。我々は、日本の製造現場の既存のプレイヤーと競合するのではなく、JMCさんとともに、新しいものづくりを進めていきたいと思っています。

地に足の着いた 産業プラットフォームを築き上げる



JMC・渡邊大知 代表取締役社長兼CEO

日本では、一時3Dプリンターブームに乗って多くの事業者が機械を購入しましたが、活用法を十分理解できていない方が少なく、せっかくの機械も放置される例が多く見受けられます。3Dプリンターを一過性のブームに終わらせるのではなく、産業として根付かせようと思い、グローバルな知見と3Dプリンターメーカーとしての技術力をもつEOSさんに協業を持ちかけました。

2020年7月から連携をスタートし、当社と同じ新横浜にあるEOSさんのショールーム内に設置されている実機（3Dプリンター）を用いて、EOSさんの専門技術者のサポートのもと、我々JMCが、日本企業に適した3Dプリンターの活用、導入提案を行っています。

先行している海外の事例の上書きではなく、日本ならではの3Dプリンターによるものづくりを、EOSさんとともに目指していきたいと考えています。

EOS Electro Optical Systems Japan 株式会社

所在地：横浜市港北区新横浜3丁目22-11
代表者：Terrence Oh
設立：2017年8月
事業概要：3Dプリンターの販売、技術サービスの提供
URL：<https://www.eos.info/en>

※同社の横浜での日本法人設立にあたっては、横浜市、ジェトロ、神奈川県が連携して支援。



株式会社 JMC

所在地：横浜市港北区新横浜2丁目5-5
代表者：渡邊大知
設立：1992年12月
事業概要：鋳造・3Dプリンターによる試作品等の製造販売、CT検査
URL：<https://www.jmc-rp.co.jp/>

※同社は、LIP 横浜の会員企業。海外展開に向けて、横浜市の海外展示会の出展支援等を活用。